

令和3年度 文化芸術の振興に係る重点施策説明資料

事業名	番号	頁	事業名	番号	頁
◆ しまくとぅば普及継承事業(No.1) ……1			◆ 「琉球・沖縄の知と心」国際発信事業(No.45) ……16		
◆ 沖縄文化芸術を支える環境形成推進事業(No.2・28・68) ……2			◆ 在外琉球王国文化財里帰り事業(No.48) ……17		
◆ 琉球歴史文化の日周知啓発事業 (No.4・67・86・109) ……3			◆ 沖縄らしい風景づくり促進事業(No.55) ……18		
◆ 沖縄県空手振興事業 (No.5・105) ……4			◆ 文化観光戦略推進事業 (No.56・82・87) ……19		
◆ 沖縄空手ユネスコ登録推進事業(No.6) ……5			◆ 美ら島おきなわ文化祭2022事業(No.74) ……20		
◆ おきなわ工芸の杜整備事業(No.14) ……6			◆ 離島読書活動支援事業(No.79)、 離島読書活動充実事業 (No.80) ……21		
◆ 工芸産業パワーアップ事業(No.17・59) ……7			◆ グローバル・リーダー育成海外短期派遣研修事業 (No.83) ……22		
◆ 沖縄食文化保存・普及・継承事業 (No.21) ……8			◆ 世界のウチナーネットワーク強化推進事業(No.84) ……23		
◆ 琉球王国文化遺産集積・再興事業 (No.22・43・107) ……9			◆ 文化発信交流拠点整備事業(No.85・100) ……24		
◆ 特命推進事業 (No.25) ……10			◆ 知の拠点パワーアップ事業(No.106) ……25		
◆ 首里城復興整備事業 (No.26) ……11					
◆ 琉球王国外交文書等の編集刊行及びデジタル化事業 (No.39) ……12					
◆ みんなの文化財図鑑刊行事業 (No.40) ……13					
◆ 琉球政府文書デジタル・アーカイブズ推進事業 (No.42-1) ……14					
◆ 在米沖縄関係資料収集公開事業 (No.42-2) ……15					

事業概要

事業概要 地域の伝統行事等で使用される大切な言葉であり、組踊や琉球舞踊、沖縄芝居等の沖縄文化の基層である「しまくとぅば」を次世代へ継承するため、しまくとぅば普及推進計画に基づき県民運動を展開し、各地域で普及促進を行う。

事業期間：平成26～令和3年度

総事業費：651百万円(うち国費：509百万円)

補助率 国：県＝8：2

R3年度実施内容

- ①普及促進の取組み(普及センター運営、人材養成講座、民間への補助、読本配布)
 - ②気運醸成(県民大会等の実施)
 - ③各委員会等による効果検証
 - ④保存の取組み(しまくとぅばアーカイブの検討)
- 事業費：97百万円(うち国費：76百万円)

事業実施の目的・効果

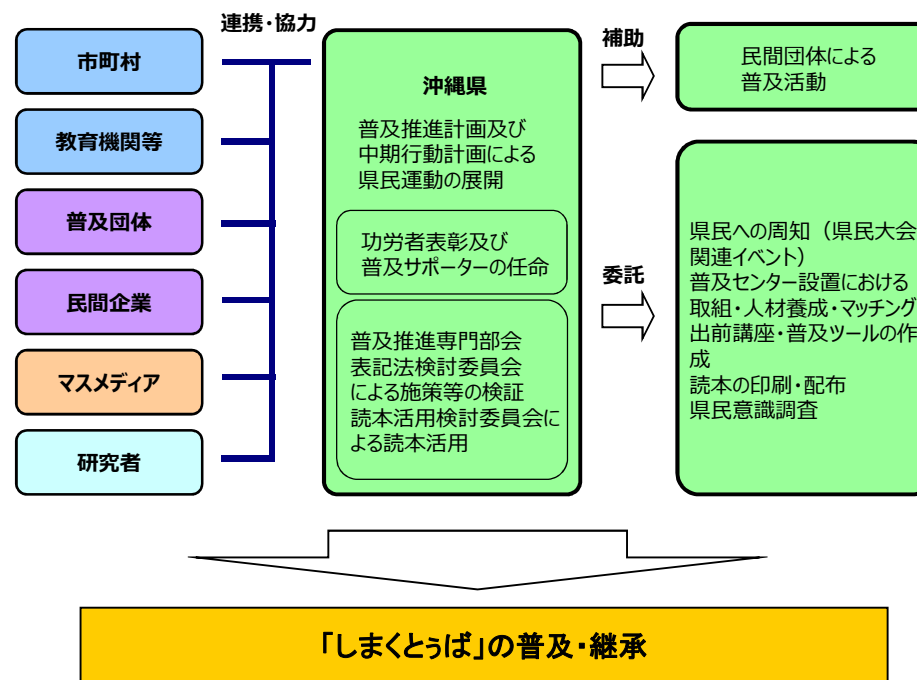
【目的】地域の伝統行事等で使用される大切な言葉であり、組踊や琉球舞踊、沖縄芝居等の沖縄文化の基層である「しまくとぅば」を次世代へ継承する。

【R3年度成果目標】しまくとぅばを挨拶程度話せる人の割合：82%

年度毎の取組

	R1年度	R2年度	R3年度
しまくとぅば普及推進計画	後期行動計画		
しまくとぅば県民運動	県民運動、功労者表彰 等		
各地における普及促進	普及センター運営、人材養成講座 等		

イメージ図



【令和3年度】 沖縄文化芸術を支える環境形成推進事業

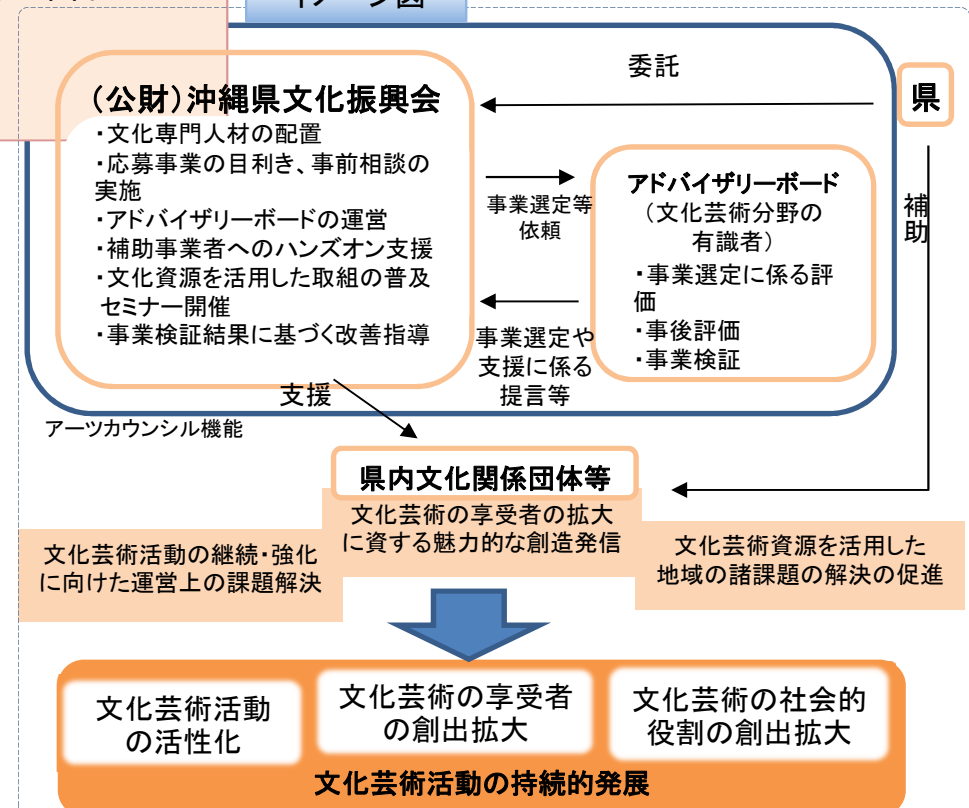
事業概要

本県の多様で豊かな地域の伝統芸能や芸術文化といった文化資源を活用した文化芸術活動の持続的発展を図るため、文化専門人材の目利きのもと、県内文化関係団体等による以下の取組を公募、審査、採択し、支援する。

- (1)文化芸術活動の継続・強化に向けた運営上の課題解決を図る取組
補助額上限：500万円 補助率：1年目9/10、2年目8/10、3年目7/10
- (2)文化芸術の享受者の拡大に資する魅力的な創造発信を行う取組
補助額上限：500万円 補助率：1年目9/10、2年目8/10、3年目7/10
- (3)文化芸術資源を活用して地域の諸課題の解決を促進する取組
補助額上限：1000万円 補助率：1年目9/10、2年目8/10、3年目7/10

年度毎の取組	R1	R2	R3
(1)文化芸術活動の継続・強化に向けた運営上の課題解決を図る取組	8件	53件	5件
(2)文化芸術の享受者の拡大に資する魅力的な創造発信を行う取組	5件	29件	6件
(3)文化芸術資源を活用して地域の諸課題の解決を促進する取組	8件	7件	2件

イメージ図



R3年度実施内容

総事業費：81百万円 補助率8/10
交付対象事業費：81百万円(うち国庫：65.3百万円)

事業実施の目的・効果

【目的】 県内の文化芸術活動を支える環境の形成を推進し、もって、本県の多様で豊かな文化芸術活動の持続的発展を図る。

【R3年度成果目標】

- ①本事業により文化芸術活動数が前年度より増加した団体の割合:37.5%
- ②文化芸術活動の享受者数を前年度より増加させた団体の割合:37.5%
- ③文化芸術と他分野の連携活動が前年度より増加した団体の割合:25.0%

令和3年度 琉球歴史文化の日周知啓発事業

予算額：12,927千円

1 事業目的

- 県は、琉球歴史文化の日を定め、先人達が創り上げてきた沖縄の歴史と文化への理解を深め、故郷への誇りや愛着を感じられる地域社会の形成に取り組むとともに、新たな歴史と文化を自らの手で創造することを図るため、「琉球歴史文化の日条例」制定した。
- 令和3年度は、琉球歴史文化の日周知啓発事業において、琉球歴史文化の日とその趣旨について普及・啓発するための関連事業や広報活動を行うとともに、琉球歴史文化の日(11月1日)に制定記念式典を実施する。

2 事業内容

(1) 普及啓発・広報

- ①キックオフイベント開催【講座/ワークショップ】
- ②公募による「ロゴ」の作成
- ③琉歌コンテスト
- ④児童生徒を対象とした写真・キャッチコピーコンテスト
- ⑤「世界の風景でかぎやで風」映像募集
- ⑥SNS・動画サイトPR、新聞広告

(2) 琉球歴史文化の日制定記念式典

- 日時：令和3年11月1日(月)14時～16時
場所：沖縄空手会館(参加者想定：320名)
内容：(1)主催者挨拶(知事)
(2)来賓挨拶
(3)演舞(かぎやで風・空手)
(4)コンテスト受賞者表彰
(5)記念講演

沖縄県空手振興事業

事業費(R3): 122,023千円
(うち国費:97,618千円)
事業期間 : 平成29年度～令和3年度

事業概要

沖縄空手を振興するため策定した「沖縄空手振興ビジョン」及び「沖縄空手振興ビジョンロードマップ」に基づいた施策を展開する。具体的には、(1)空手流派研究(2)空手関係イベントの開催(3)指導者派遣(4)空手案内センターの運営(5)沖縄空手の普及・啓発(6)沖縄空手会館を拠点とした調査事業・企画展示(7)聖地・沖縄空手ガイド養成事業(8)第2回沖縄空手世界大会の開催準備を展開する。

事業効果

「空手発祥の地・沖縄」を活かし沖縄空手を総合的に振興することで、沖縄空手を取り巻く環境の活性化につなげるとともに、国際交流や観光業等、関連産業の振興にもつながる。

背景

【平成28年度】

- ・沖縄県空手振興課設置
- ・空手のオリンピック種目の正式決定
- ・沖縄空手会館開館

【平成29年度】

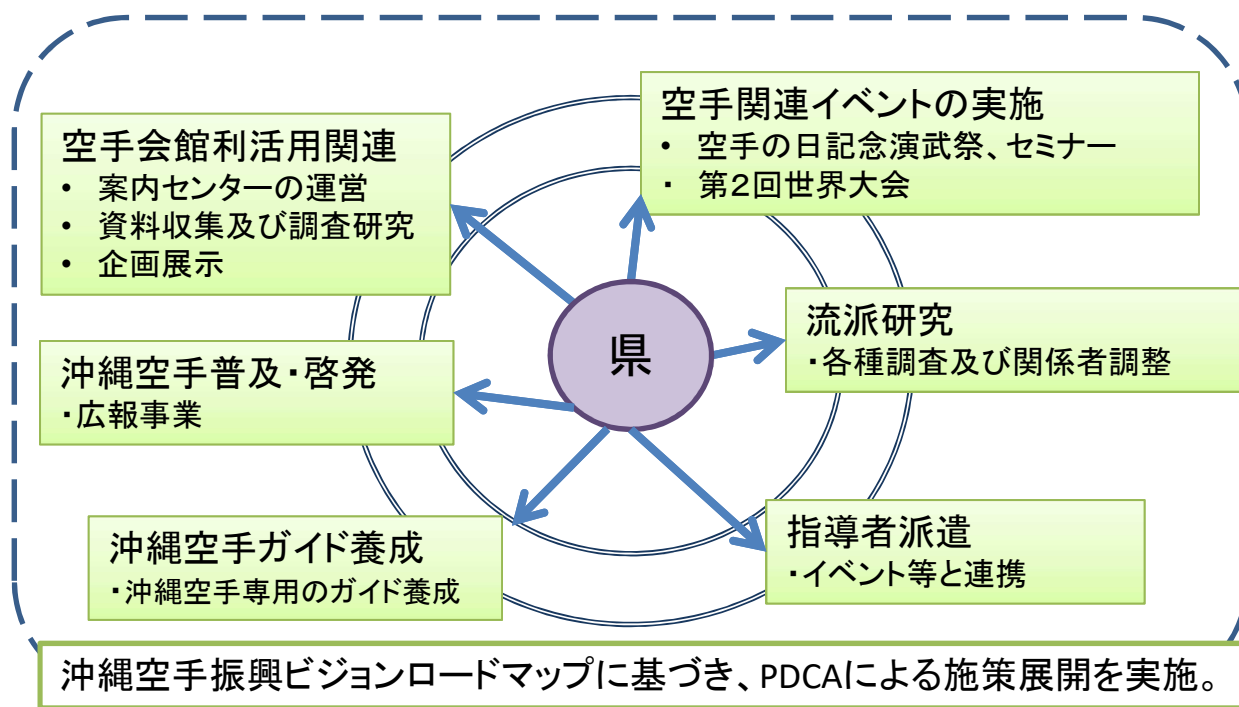
- ・沖縄空手振興ビジョン策定

【平成30年度】

- ・沖縄空手国際大会開催(県主催)
- ・沖縄空手振興ビジョンロードマップ策定

実施方法

- ・企画提案や入札によりそれぞれ委託契約を締結し実施
- ・案内センターの運営委託先は沖縄伝統空手道振興会



【令和3年度】 沖縄空手ユネスコ登録推進事業 所管課：空手振興課

事業概要

- 幅広い分野の関係機関・団体で構成する協議会において、沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組を推進する。
- ・事業期間：令和2年度～令和4年度
- ・総事業費：9,017千円
- ・補助率 国：県＝0：10

R3年度実施内容

- 県知事を会長として、県議会、行政、教育、文化・学術、経済・観光、メディア等の幅広い分野の関係機関・団体で構成する協議会において、沖縄県民や空手関係者等の気運醸成に向けた広報やイベント、国への要請等の活動を実施
- 協議会の部会として設置した空手関係者、有識者、行政関係者による委員会と流派別の連絡会において、沖縄空手の定義や特徴、県民生活・地域社会との関わりなど、登録に必要な内容の調査・研究を実施

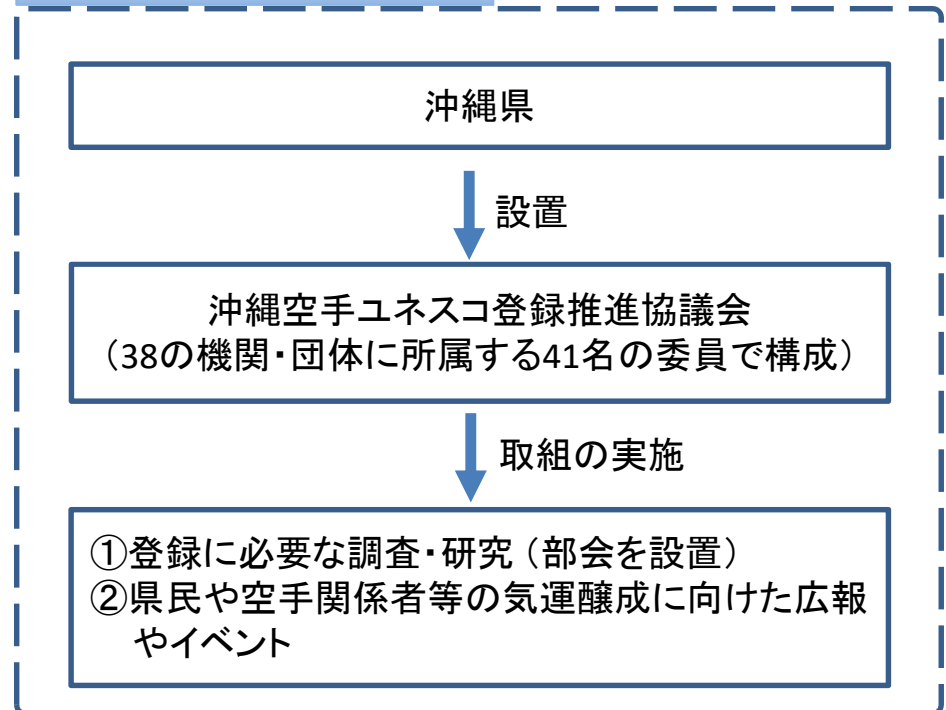
事業実施の目的・効果

- 【目的】
- 沖縄が世界に誇る伝統文化である空手を次世代に正しく保存・継承し、「空手発祥の地・沖縄」を国内外に広く発信するため、ユネスコ無形文化遺産への登録を推進する。
- 【効果】
- 沖縄空手のユネスコ無形文化遺産に向けた取組を通して、沖縄空手の適切な保存・継承に繋がるとともに、ブランディングの強化を図り、県外・海外から沖縄へのインバウンドを促進する。

年度毎の取組

	R2年度	R3年度	R4年度
登録に必要な調査・研究	→		
気運醸成に向けた取組	→		
国との調整		→	

イメージ図



おきなわ工芸の杜整備事業

事業概要

本県工芸産業の振興発展のため、技術や技法の高度化、市場ニーズに対応した製品開発、工芸分野の起業家の育成などを推進する「おきなわ工芸の杜」を整備する。

事業効果

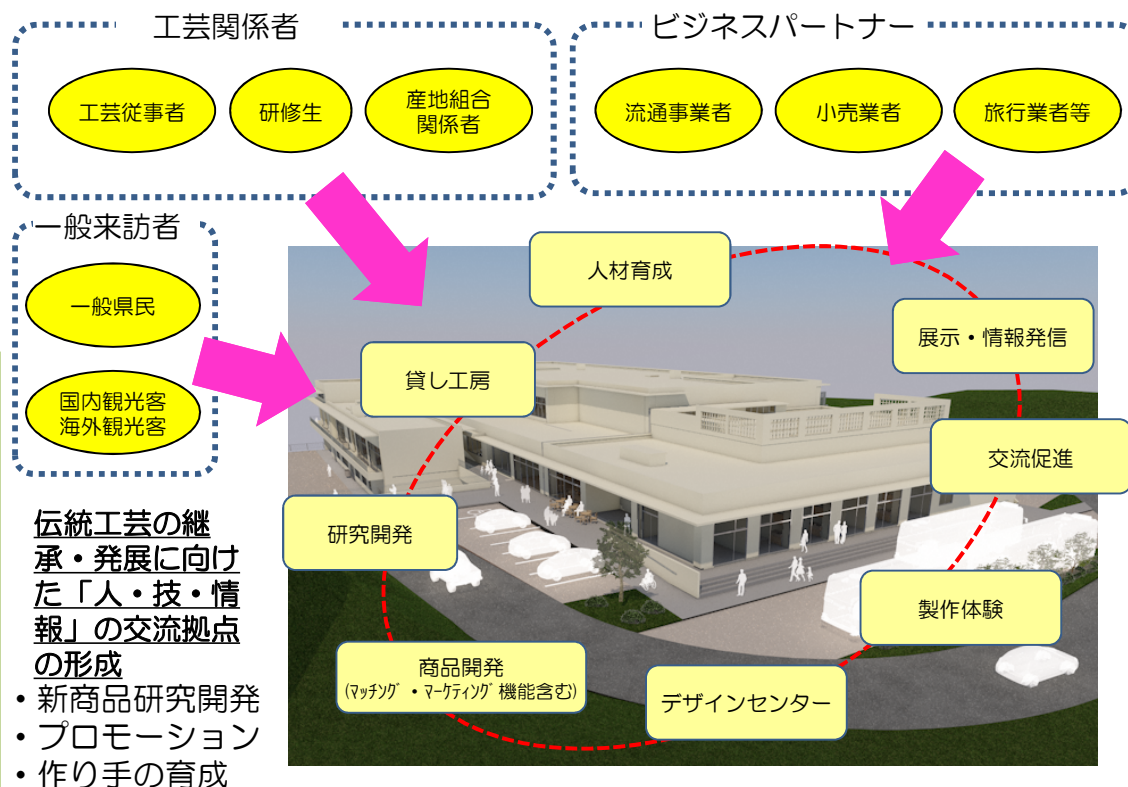
本県工芸産業を振興、発展させるために必要な拠点の整備
(人材育成、研究開発、ビジネス開拓等の拠点整備)

施設概要

施設内容：共同工房、貸し工房、体験工房、展示室等
工芸振興センター（行政機関）
敷地面積：約9,788㎡
床面積：約9,162㎡（駐車場面積を含む）
総事業費：約43.9億円（予定）

整備スケジュール

- H26 基本計画策定
- H27 展示・管理運営・ブランディング計画策定
基本設計、用地取得等
- H28 基本設計、用地取得
- H29 実施設計、展示設計
- H30 埋蔵文化財発掘調査
- R1 建設工事、名称決定、文化財調査報告書作成
- R2 建設工事、展示工事
- R3 建設工事、展示工事、備品整備、供用開始



【令和3年度】

工芸産業パワーアップ事業

事業概要

事業概要

工芸産業の振興を図るため、工芸産地組合が実施する商品開発等の取り組みへのハンズオン支援、補助を行う。また、現代および将来のニーズに対応する感性を活かした、競争力のある製品開発するスキルをもった人材を育成する(令和2年度のみ)。

事業期間: 令和元～3年度

総事業費: 100百万円(うち国費: 76百万円)

補助率 国: 県 = 8: 2

R3年度実施内容

工芸産地3組合が実施する商品開発等への支援
事業費: 20百万円(うち国費: 16百万円)

事業実施の目的・効果

【目的】

工芸産地組合に対する補助とハンズオン支援を行うことにより組合の商品開発力及び収益力の向上を図る。

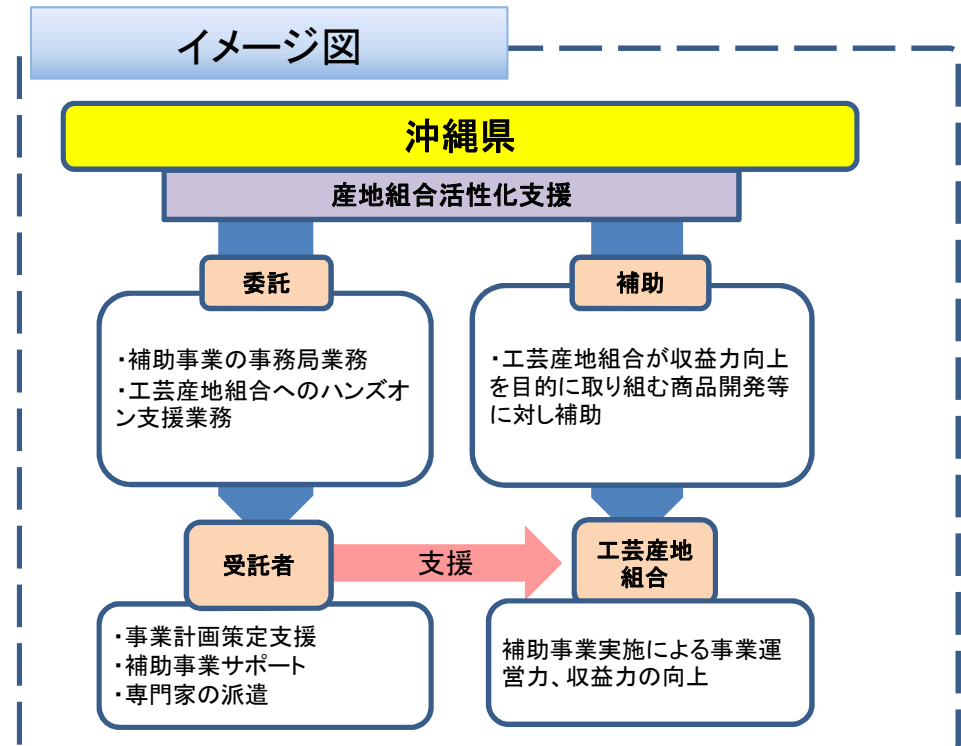
【R3年度成果目標】

商品開発3件以上

年度毎の取組

	R1年度	R2年度	R3年度
組合活性化支援	3件	3件	3件
人材育成 工芸事業企画コース	—	12名	—
教材データ	—	300点	—

イメージ図



令和3年度 沖縄食文化保存・普及・継承事業

所管: 文化観光スポーツ部文化振興課

事業目的

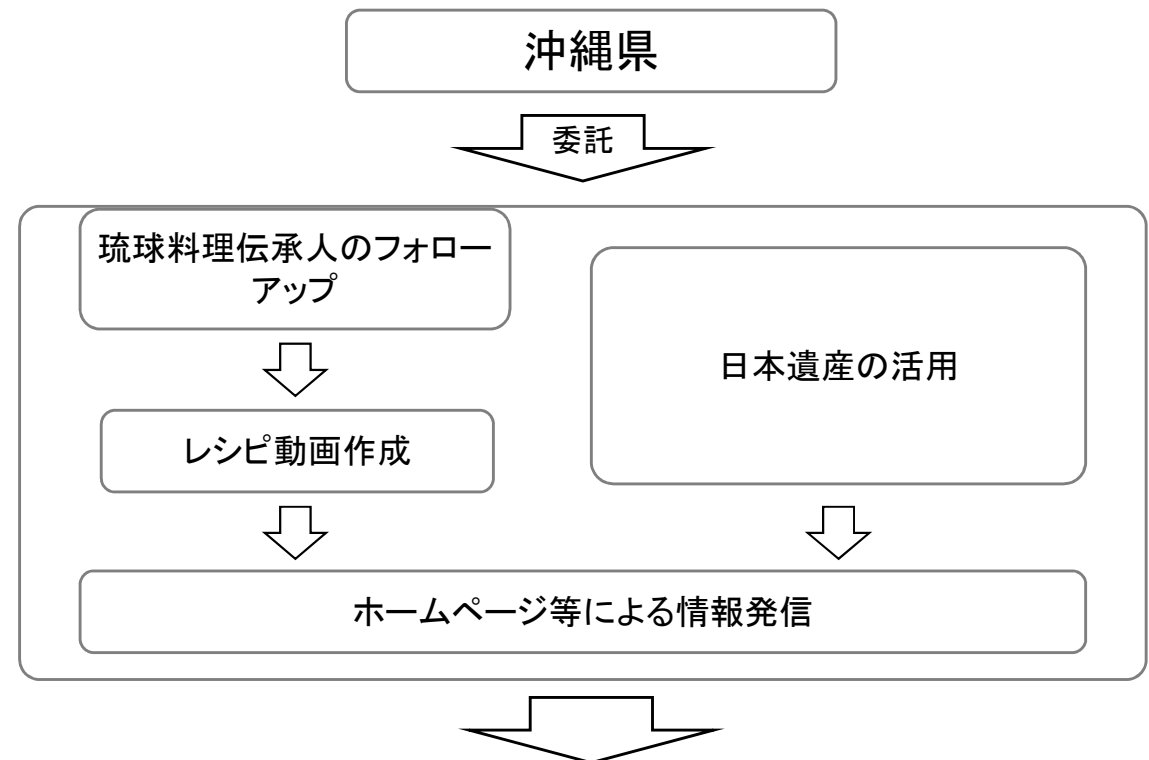
沖縄には地理的歴史的背景から独自の食文化が育まれてきたが、食を取り巻く環境の近代化により「沖縄の伝統的な食文化」が急速に失われつつある。そのため「沖縄の伝統的な食文化の普及推進計画(H29-R3年度)」を策定し、貴重な文化資源である食文化の保存・普及・継承を通じ、沖縄の伝統的な食文化を次世代へ継承するとともに、観光資源として活用に繋げるための施策を講じる。

事業内容

- (1) 琉球料理传承人のフォローアップ
平成29年度から令和元年度まで琉球料理担い手育成講座を実施し、69名の調理師や栄養士の方を琉球料理传承人として認証しており、この琉球料理传承人の更なるスキルアップを図るためフォローアップ研修を実施する。
- (2) 琉球料理传承人の活用
琉球料理传承人を活用し、各地域で出前講座やワークショップ等を開催することにより、食文化の次世代への継承について考える場を創出する。
- (3) 日本遺産を活用したプロモーション
令和元年度に認定された、食文化をテーマとした日本遺産を活用し本県の伝統的な食文化を一過性の話題から継続的な魅力の発信につなげるため、PR動画の作成等を行う。

予算額 14,925千円

事業イメージ



沖縄の伝統的な食文化の次世代への継承及び観光資源としての活用

【令和3年度】

琉球王国文化遺産集積・再興事業

事業概要

戦後70年余を経て、戦災により失われた相伝の8分野のティーワジャ(手わざ)など王国時代の精緻で至高の技の世界を現代に蘇らせ、世界に誇る沖縄の手わざの力をモノを通して発信し、琉球王国文化の周知を図り、文化観光拠点としての沖縄をアピールする。失われた文化財の復元である製作業務と展覧会による発信業務が大きな柱である。

事業期間:平成27年度～令和3年度

総事業費:705,768千円(うち国費:564,528千円)

補助率:補助率 80%

R3年度実施内容

【発信業務】国内3カ所(久米島、福岡県、東京都)の巡回展実施、制作者報告会・研究者講演会の実施、分析・制作過程で得られた知見等の報告書作成(8分野)
事業費:73,113千円(うち国費:58,490千円)

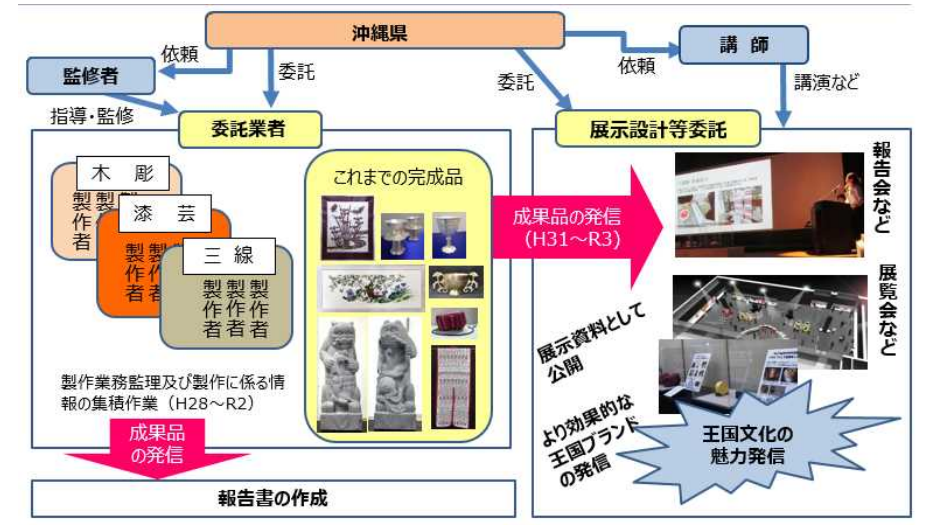
事業実施の目的・効果

【目的】展覧会では県内外に国宝と同等の王国の美を知る機会が遠隔地に提供できる。また制作及び発信業務により、沖縄県をアピールし観光振興のブランド化を図ることができる。失われた手わざの復元により工芸産業にも寄与できる。

【R3年度成果目標】・県内外の巡回展3回実施・入場者数36,000人、理解度・満足度80%、報告書8分野作成

年度毎の取組

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
資料調査・設計業務	▶						
模造復元製作業務		7件完成	11件完成	18件完成	24件完成	5件完成	
展示公開・発信業務					展覧会1回	展覧会3回	展覧会3回

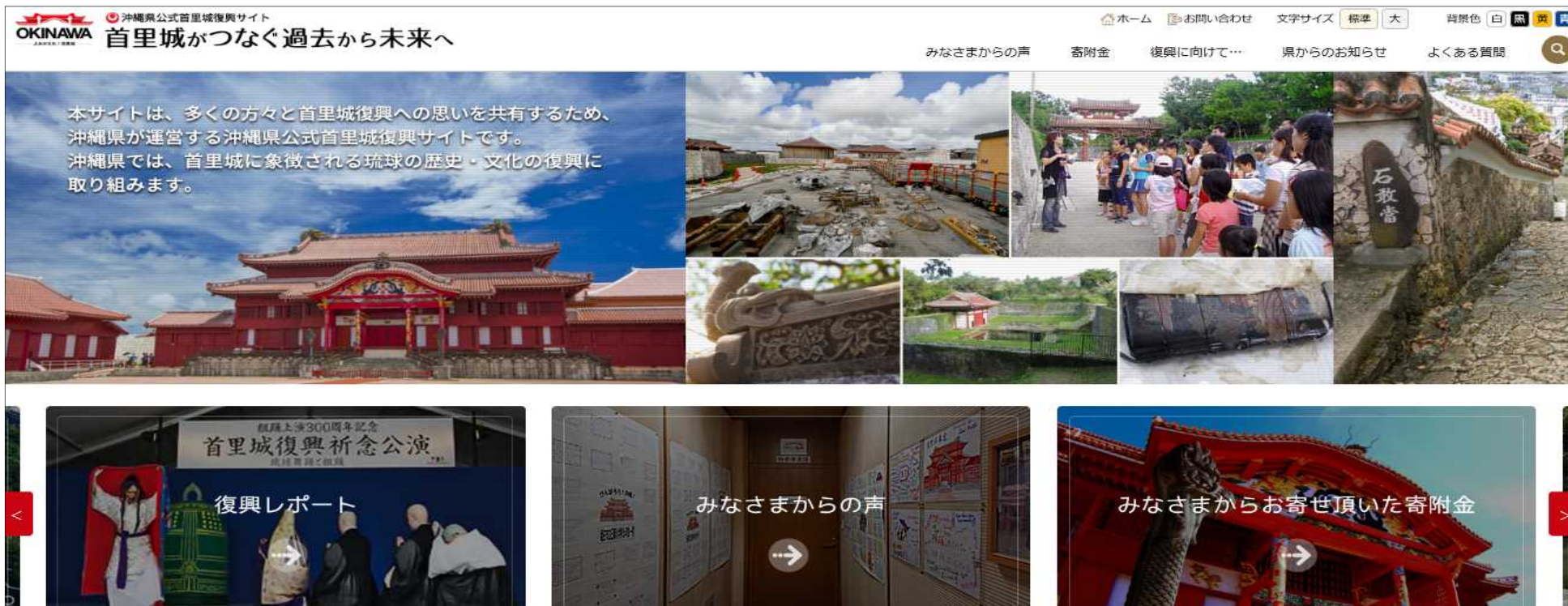


特命推進事業

令和3年度予算額：2,700千円
(うち国費：0千円)

事業概要

- 首里城復興への思いを共有するため、首里城の復興過程や関係機関を含む情報を集約し、発信をするホームページのための経費



○過去の取り組みについては、
「沖縄県公式 首里城復興サイト」をご覧ください。
URL: <https://www.shurijo-fukkou.jp/>

○Twitterでも首里城復興等に関する情報を発信中！



首里城復興サイト 🔍 検索



【令和3年度】 首里城復興整備事業

首里城復旧・復興事業
首里城公園活性化推進事業
首里城復興基金事業

事業概要

令和元年10月31日未明の発生した火災により、琉球王国の象徴であり、沖縄県民の誇りであった首里城正殿等が全焼等した。今般の火災により焼け落ちていく首里城の姿は、県民のみならず、多くの国民や世界各国の人々に多くの喪失感を与えた。

沖縄県では、政府が令和2年3月27日に発表した「首里城復元に向けた工程表」を踏まえ、国や那覇市等の関係機関との連携のもと、積極的な首里城復興の取り組みを進めることとしている。

当該事業は、首里城復興基本計画に基づく首里城復興を推進するための事業である。

事業期間：令和元年度～（首里城復元までを予定）

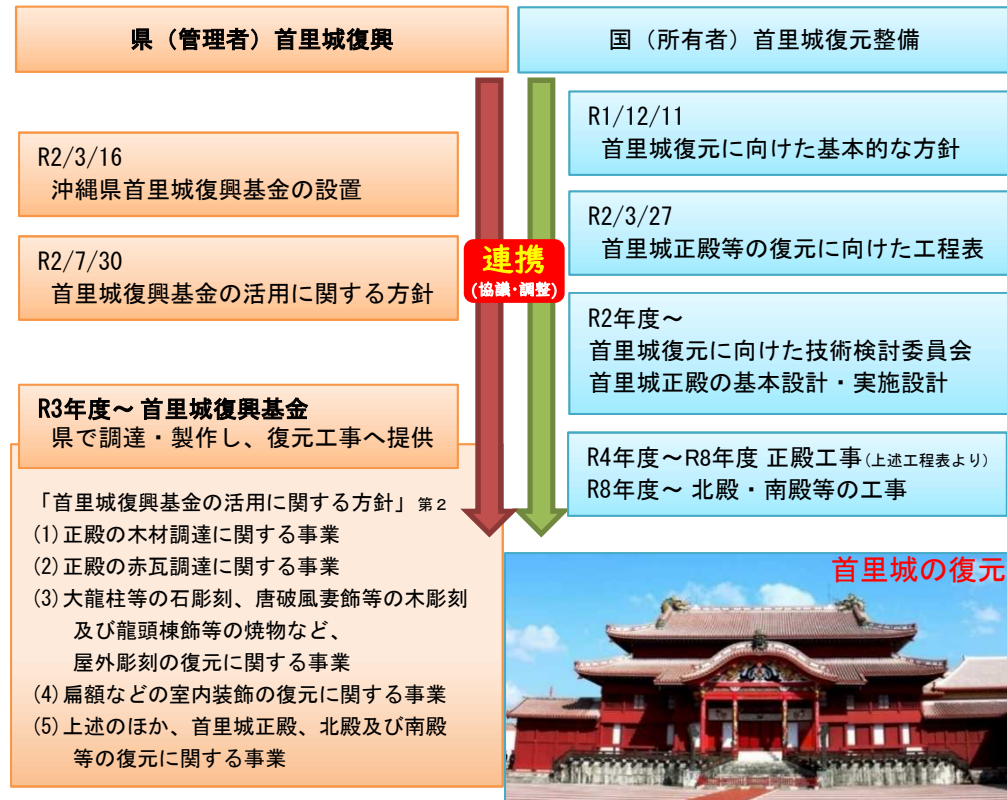
R3年度 実施内容

事業費：1,646百万円（首里城復興基金事業含む）

- (1) 再発防止に向けた管理体制構築の検討[委託料]
- (2) 歴史まちづくりの推進に関する検討[委託料]
- (3) 首里城復元に関する施設利便性の向上[工事請負費]
- (4) 復興イベントの実施[委託料]
- (5) 正殿に用いる木材や赤瓦の調達に関する事業
- (6) 正殿に掲げる扁額の設計[委託料]

イメージ図

令和元年10月31日 首里城火災により正殿等焼失



復興イベント



琉球王国外交文書等の編集刊行及びデジタル化事業

事業概要

沖縄独自の歴史文化の原点につながる琉球王国の外交文書「歴代宝案」及び交流史等に関する資料を編集・刊行し、琉球史の基礎資料の蓄積を図り歴史教育に利活用する。

事業期間：平成24～令和3年度

総事業費：434百万円（うち国費：344百万円）

補助率 国：県費＝8：2

R3年度実施内容

・『歴代宝案』その他2冊の刊行、琉球王国外交文書等のデジタル化およびウェブシステムの構築

事業費：58百万円（うち国費：45百万円）

事業実施の目的・効果

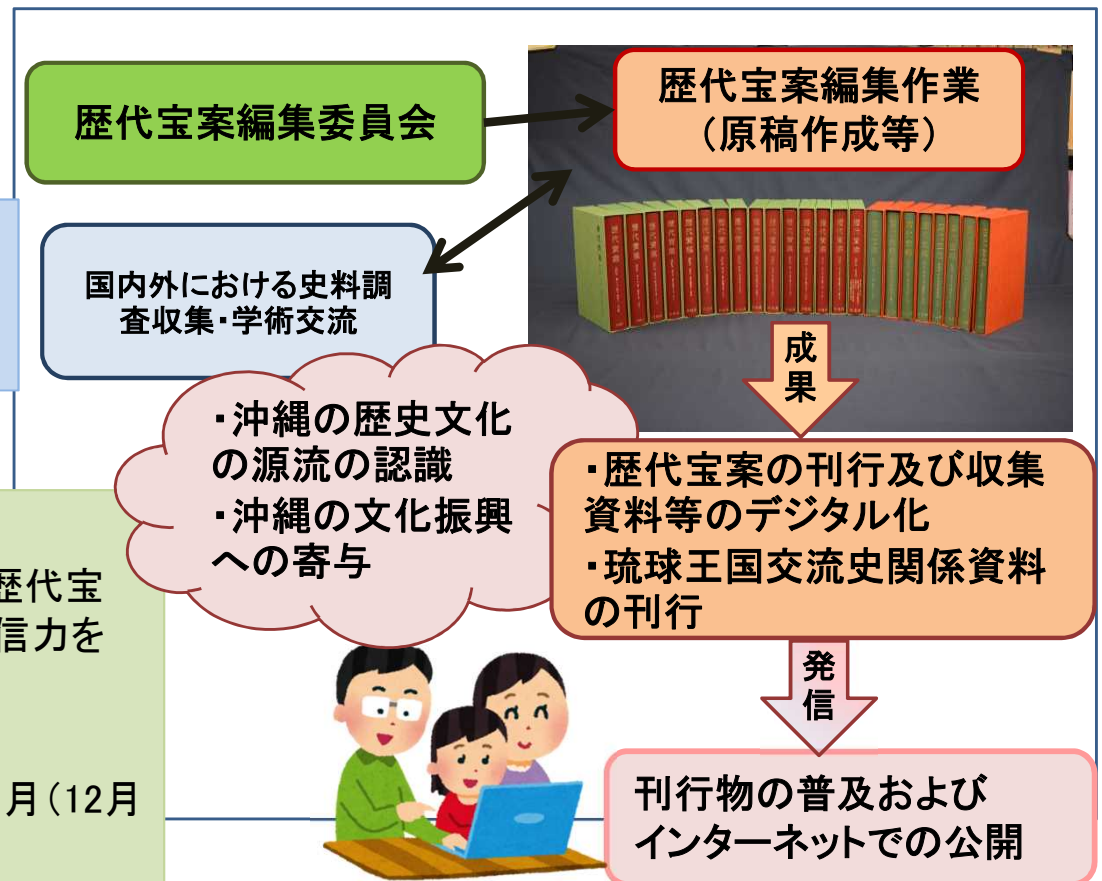
【目的】

県民をはじめ国内外へ向けて琉球王国外交文書（「歴代宝案」等）への理解の進展を図り、沖縄の歴史文化の発信力を高める。

【R3年度成果目標】

・開設したウェブサイトへのアクセス件数 1,760件/4ヶ月（12月公開予定）

	H 24	H 25	H 26	H 27	H 28	H 29	H 30	R 1	R 2	R 3
歴代宝案刊行										
琉球王国関係史料のデジタル化										



みんなの文化財図鑑刊行事業

事業概要

本事業では新たに指定になった文化財を加えて、7年計画で5冊の書籍を、県民への文化財愛護の普及啓発を行うための基礎的な教材として刊行する。また、沖縄の文化財を紹介するために、県ホームページにPDFデータを掲載する予定である。

事業期間：平成26年度～令和3年度

総事業費：96百万円(うち国費：77百万円)

補助率 国：県 = 80：20

R3年度実施内容

『天然記念物編』

・令和3年度：刊行、配布

事業費：10百万円(うち国費：8百万円)

事業実施の目的・効果

【目的】

指定文化財を紹介する書籍5冊を刊行し、沖縄の歴史・文化への普及・啓発を行う

【R3年度成果目標】

『天然記念物編』の刊行

年度毎の取組

	R1年度	R2年度	R3年度
文化財図鑑の刊行	『有形文化財編』の刊行	『無形・民俗文化財編』	『天然記念物編』の刊行
印刷原稿の作成		『無形・民俗文化財編』	『天然記念物編』の刊行

イメージ図



【令和3年度】

琉球政府文書デジタル・アーカイブズ推進事業

事業概要

沖縄戦で多くの歴史資料を消失した当県において、沖縄の歴史を調査研究・検証する上で貴重な琉球政府文書をデジタル化し、インターネットで公開する。

事業期間：平成25年度～令和3年度

総事業費：1,297百万円（うち国費：1,037百万円）

R3年度実施内容

事業費：225,178千円（うち国費：180,142千円）

- ・琉球政府文書デジタルデータの作成 12,000簿冊
- ・資料審査（非公開情報編集）27,236簿冊
- ・ウェブサイト公開 28,272簿冊

事業実施の目的・効果

【目的】

- 離島等の県民等も公文書館資料の利用が容易となる。
- 国内外における沖縄研究の発展
- 貴重資料の永年保存が可能
- 大学等の教育機関において資料の2次利用が可能

【R3年度成果目標】

- アクセス数 40,000アクセス
- 資料の理解度(満足度) 80%

年度毎の取組

	25	26	27	28	29	30	1	2	3
デジタル化	○	○	○	○	○	○	○	○	○
資料審査		○	○	○	○	○	○	○	○
資料公開				○	○	○	○	○	○

事業イメージ

デジタル化業務

琉球政府文書



デジタル撮影



- ・劣化資料の修復
- ・デジタルデータの作成

公開データ整備運營業務



- ・BDディスクへの書込
- ・非公開情報の編集
- ・データのファイル変換、搭載
- ・ウェブサイトの運用管理
- ・広報及びレファレンス対応

【令和3年度】

琉球政府文書デジタル・アーカイブズ推進事業 (在米沖縄関係資料収集公開事業)

事業概要

米国国立公文書館に所蔵されている沖縄戦及び戦後の米国統治に関する写真と動画を収集し公開する。

事業期間：平成29年度～令和3年度

総事業費：79百万円（うち国費：64百万円）

R3年度実施内容

事業費：15,522千円（うち国費：12,417千円）

- ・資料収集 1,561点
- ・資料翻訳・目録整理 1,735点
- ・資料公開

事業実施の目的・効果

【目的】

沖縄の記録遺産と言われる未収集の写真及び動画を沖縄県公文書館に所蔵し、戦後の歴史資料として広く県民の利用に供することで記憶の継承が可能になると共に、戦後史研究の発展に寄与することができる。

【R3年度成果目標】

- PV(ハ°-ジビュ-)数 241,000PV
- 資料の理解度(満足度) 80%

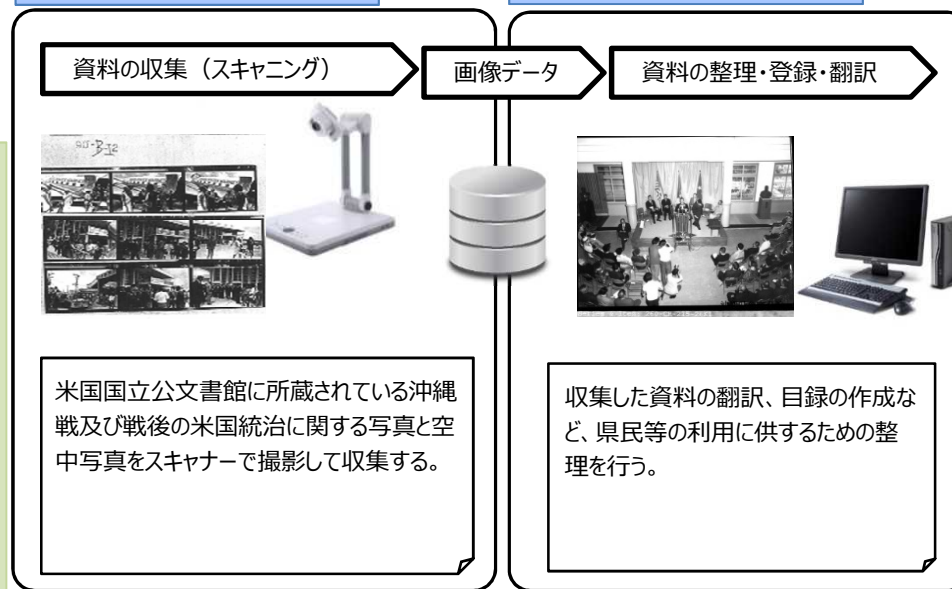
年度毎の取組

	H29	H30	R1	R2	R3
調査選別	○				
資料収集		○	○	○	○
資料整理		○	○	○	○
資料公開					○

事業イメージ

沖縄関係資料収集業務

沖縄関係資料整理業務



「琉球・沖縄の知と心」国際発信事業

- ・令和3年度当初事業費：18,590千円
(うち国費 14,872千円)
- ・事業期間：平成31年度～令和3年度

所管：生涯学習振興課(県立図書館)

事業目的

沖縄県立図書館郷土資料フロアの移民資料コーナー等の充実により、本県独自の歴史・文化の価値を国際的に発信し、県民のみならず世界のウチナーンチュに琉球・沖縄の歴史と文化を継承していく。

事業内容

① 移民資料コーナーの充実

移民1世・2世が残した貴重資料を新館の移民資料コーナーで収集・保存し、効果的に活用して移民ルーツ調査等で情報発信を行うことにより、歴史・文化の継承・発展に資するとともに、世界のウチナーネットワークの強化を図る。

11,895千円

② 郷土資料企画展の実施

本県独自の歴史・文化を県民のみならず世界のウチナーンチュに向けて発信・継承していくため、関係機関やマスコミ等とも連携して、多言語対応した郷土資料関連企画展等を実施していく。

6,695千円

事業イメージ



在外琉球王国文化財里帰り事業

事業費(R3) : 2,500千円

事業期間 : 令和2年度～

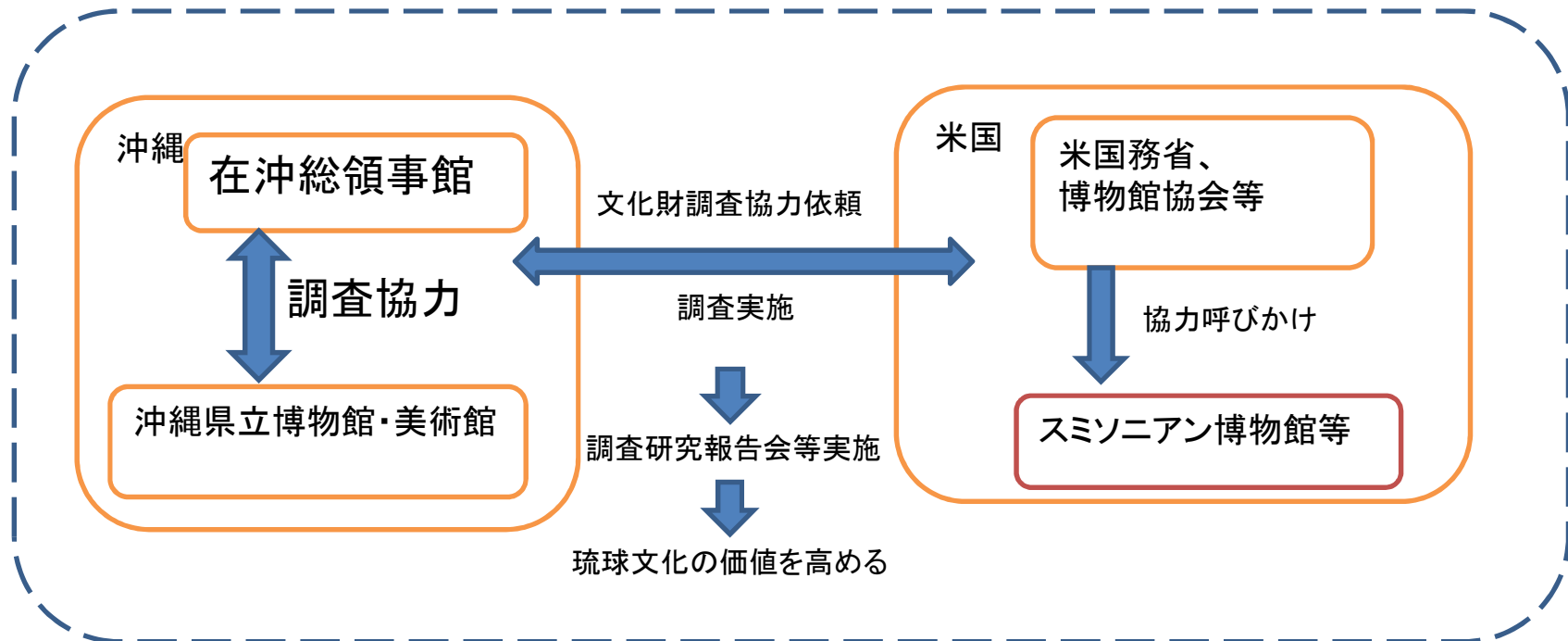
事業概要

※令和2年度は新型コロナウイルスの影響により海外調査中止。令和3年度は、同ウイルスの感染状況を踏まえつつ、事業実施のタイミングを判断していく。

沖縄での展示公開や研究に活用するため、様々な理由で国外に流出した琉球王国時代の文化財についてアメリカの博物館等で調査を行う。

事業効果

売買・譲渡・戦利品等様々な理由で流出した琉球王国関係文化財をアメリカの博物館等で調査し、研究報告会等を通して琉球文化の価値を国内外へアピールする。



【令和3年度】

沖縄らしい風景づくり促進事業

事業概要

普遍的観光資源である沖縄独特の風景・まちなみ景観の創生を図るため、沖縄らしい風景づくりに必要な人材育成や地域景観の向上に係る合意形成、良質な公共空間の創出に向けた取り組みを行い、市町村における景観地区の指定等を促進する。

事業期間：平成29年度～令和3年度

総事業費：386百万円（うち国費：309百万円）

補助率 国：県＝8：2

R3年度実施内容

沖縄らしい風景まちづくりを促進するため、以下の業務を行う。

- ① 風景づくりに係る地域人材育成（委託料）
- ② 景観評価システムの本格運用（委託料）
- ③ 県民の意識向上に向けた広報啓発（委託料）

事業費：13百万円（うち国費：10百万円）

事業実施の目的・効果

【目的】

普遍的観光資源である沖縄独特の風景・まちなみ景観の保全及び創生を図る。

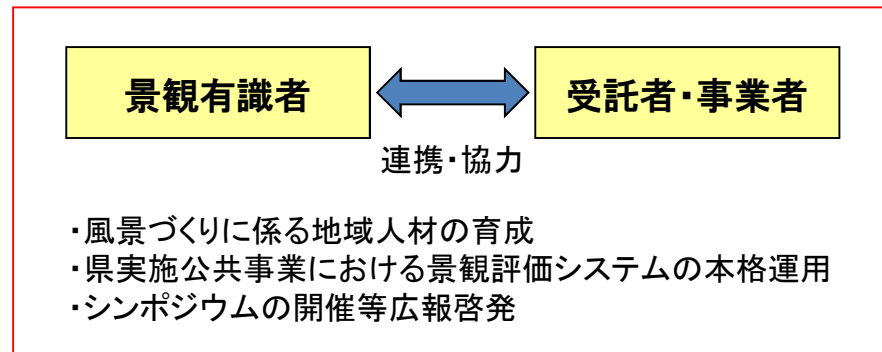
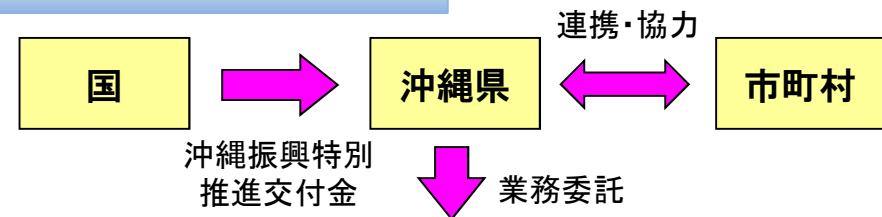
【R3年度成果目標】

- ① 取組を実施した地域において、沖縄独特の風景・まちなみ景観であると感じるかを含め（80%以上）、当該事業のあり方をアンケート調査により検証
- ② 景観アドバイス会議を開催し、同会議の助言を沖縄県景観評価委員会へ報告
- ③ 風景づくりに対する意識向上に向けた景観シンポジウムを開催する（参加者200人）

年度毎の取組

	R1年度	R2年度	R3年度
広報啓発	●	●	●
人材育成	●	●	●
景観評価システム	●	●	●

イメージ図



観光立県沖縄の観光振興に寄与する

【令和3年度】

文化観光戦略推進事業

事業概要

沖縄の特色ある伝統行事や伝統芸能に代表される多様で豊かな文化資源を活用して、新たな観光コンテンツを創出し、観光誘客を図る。

事業期間：平成24年度～令和3年度

総事業費：873百万円（うち国費：698百万円）

補助率 国：県＝8：2

R3年度実施内容

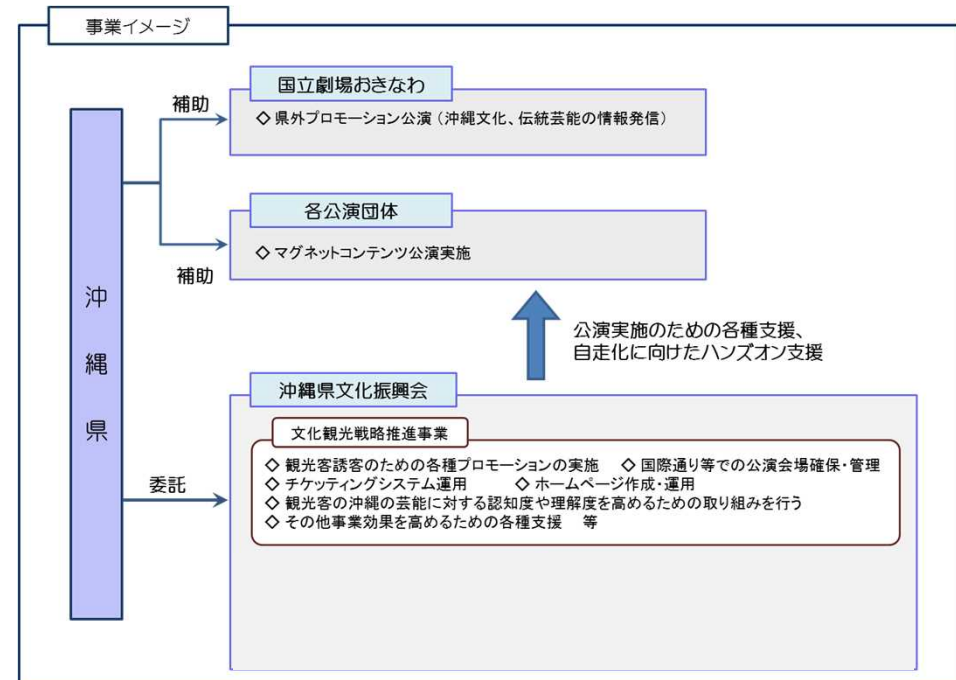
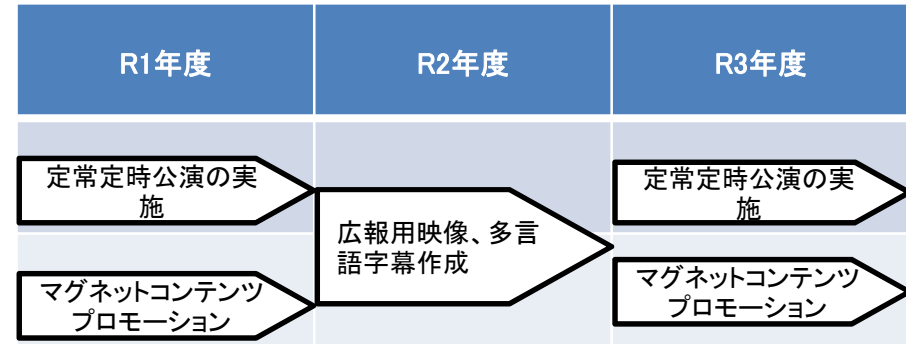
観光誘客のための取組み・・・県外プロモーション公演（1公演）、マグネットコンテンツ公演（3公演）、公演実施のための各種支援（委託）

事業費：29百万円（うち国費：23百万円）

事業実施の目的・効果

- 沖縄の特色ある伝統行事や伝統芸能に代表される多様で豊かな文化資源を活用して新たな観光コンテンツを創出し、観光誘客を図る。
- 具体的には沖縄文化の要素を取り入れ、芸術性や芸能性、エンターテインメント性が高い舞台公演をつくり、新たな観光商品として提供するとともに、観光客に対し沖縄の芸能全般に対する認知度・理解度を高めるためのプロモーションに取り組む。

年度毎の取組



【令和3年度】 美ら島おきなわ文化祭2022事業

事業概要

- ・国民文化祭は、地域の連携による文化を促進し、県全体の文化力を向上させ、地域の活性化が図られる国内最大級の文化の祭典である。
- ・文化・芸術の来場者の参加・体験型イベントを開催し、文化・芸術活動に親しむ人たちの裾野を広げることにつながる。
- ・また、国民文化祭と同時開催が求められている障がい者芸術・文化祭も併せて開催することで、障がい者の社会参加を促進し、障がいのある人とない人との交流が深まり、ともに楽しむ文化芸術活動を創出することに繋げる。
- ・各市町村とも連携を図り、離島を含めた個性豊かな文化芸術の魅力を発信する。
- ・開催期間中は100万人以上の来場者を見込み、経済波及効果も100億円以上が見込まれる。

事業内容

- ・令和2年度は基本構想を策定。文化庁等と調整し、開催期間等を決定。令和3年度に策定する実施計画等について企画会議により検討を行った。
- ・令和3年度は国民文化祭・障害者芸術文化祭準備室を設置し、国民文化祭及び全国障害者芸術・文化祭の開催に向け、実施計画の策定等の実施準備を行うとともに、広報等による開催周知や機運醸成のため、関係団体との連携・協力によりプレイベントや各種プロモーション活動などの取組を行う。

R3予算額 89,904千円

離島読書活動支援事業・離島読書活動充実事業

所管:生涯学習振興課(県立図書館)

事業目的

小規模離島のほとんどが
図書館未設置・書店もない状況

離島県民に読書機会の提供、
読書活動の啓蒙

公平な生涯学習機会の提供
教育格差是正、
離島の定住条件向上

事業内容

- ①移動図書館の開催
- ②読み聞かせ会、
読み聞かせ講座等開催
- ②一括貸出の実施
- ③協力貸出の実施
- ④広域サービス用図書購入
- ◆離島読書活動支援事業(H22~)
- R3事業費 15,053千円
- ①図書配送料 4,600千円
- ②移動図書館等旅費 3,588千円
- ③その他(非常勤職員人件費等)
6,865千円
- ◆離島読書活動充実事業(H27-R3)
- R3事業費 14,632千円
(うち国費:11,705千円)
- ①図書購入 5,605千円
- ②その他(非常勤職員人件費等)
9,027千円

事業イメージ

<県立図書館>

広域サービス用図書の充実、
移動図書館等の開催



図書

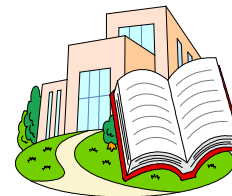
協力貸出

一括貸出

移動図書館

<町村教育委員会>

学校、公民館等を経由して
離島の県民へ貸出



読み聞かせ、
講座等



県内どこでも、いつでも
図書の貸出可能!



<事業効果>

<地域・一般>

- 図書を通じた生活や
仕事の質の向上
⇒生涯学習の推進
- 図書館機能を通じた
人の交流
⇒地域活性化

<児童・生徒>

- 読書を通じて養われる
力
- (1)論理的思考能力(読
解力・国語力・理解力)
- (2)課題解決能力(企画
力・応用力・活用力)
- (3)情報収集能力(比較
検討、判断力)

グローバル・リーダー育成海外短期研修事業 「沖縄県高校生芸術文化国際交流プログラム」

事業概要

芸術文化活動に取り組んでいる高校生を台湾、ドイツ、ハワイに派遣し、現地高校生と芸術文化国際交流を通して相互理解を深め、本県の芸術文化分野を担うグローバルな視点を持った人材を育成する。

事業期間: 平成24年度～令和3年度

総事業費: 235,416千円(うち国費: 188,332千円)

補助率 国庫: 県費 = 8: 2

R3年度実施内容

沖縄県高校生芸術文化国際交流プログラム(計64名派遣)

- ①書道部門: 台湾へ20名を派遣(4泊5日)
- ②音楽部門: ドイツへ14名を派遣(5泊7日)
- ③美術工芸部門: ドイツへ14名を派遣(5泊7日)
- ④郷土芸能部門: ハワイへ16名を派遣(4泊6日)

・事前研修からオンライン研修を取り入れ、新型コロナウイルス感染症等の影響で海外派遣できない場合は、代替研修としてオンライン(オンデマンド)研修等を実施する。

令和3年度事業費: 35,335千円(うち国費: 28,268千円)

事業実施の目的・効果

【目的】

海外での短期研修を体験させることで、国際的な視野を広げ、グローバルな人材の育成に資する。

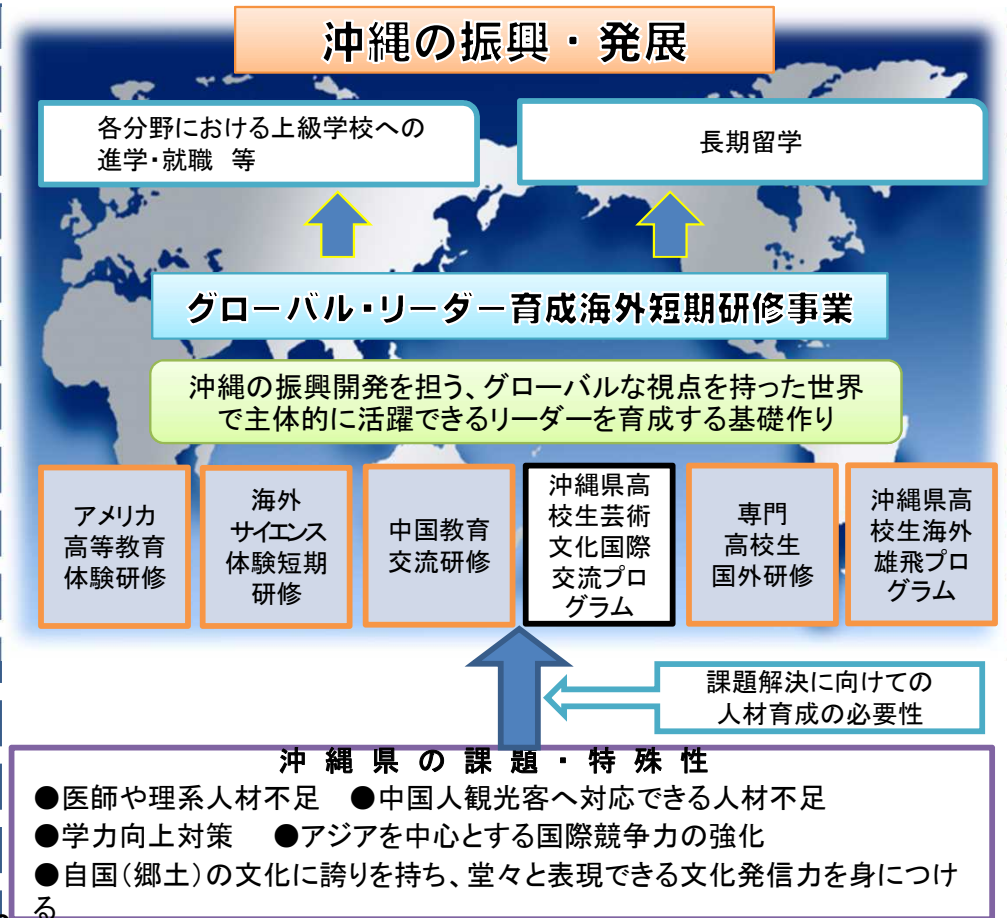
【令和3年度成果目標】 沖縄県21世紀ビジョン基本計画より

平成24年度～令和3年度 海外留学・交流派遣数 700名

年度毎の取組

	R1年度実績	R2年度実績	R3年度計画
派遣数	64名	0名 <small>(新型コロナウイルスのため)</small>	64名

イメージ図



【令和3年度】

世界のウチナーネットワーク強化推進事業

事業概要

第6回世界のウチナーンチュ大会において「世界のウチナーンチュの日」が10月30日と制定されたことを受けて、同日を世界中で沖縄に想いを馳せる象徴的な日として定着させ、ウチナーネットワークの継承・発展を一層効果的に進めるための取組を実施する。

事業期間：平成29年度～令和3年度

総事業費：227百万円(うち国費：182百万円)

補助率 80%

R3年度実施内容

世界のウチナーンチュの日の広報・イベント実施、海外県人会への芸能指導者派遣、学校等での出前講座、持続可能なモデル事業の試行

事業費：24.9百万円(うち国費：19.9百万円)

事業実施の目的・効果

【目的】 世界のウチナーネットワークの継承・発展
県民の国際性の涵養

【R3年度成果目標】

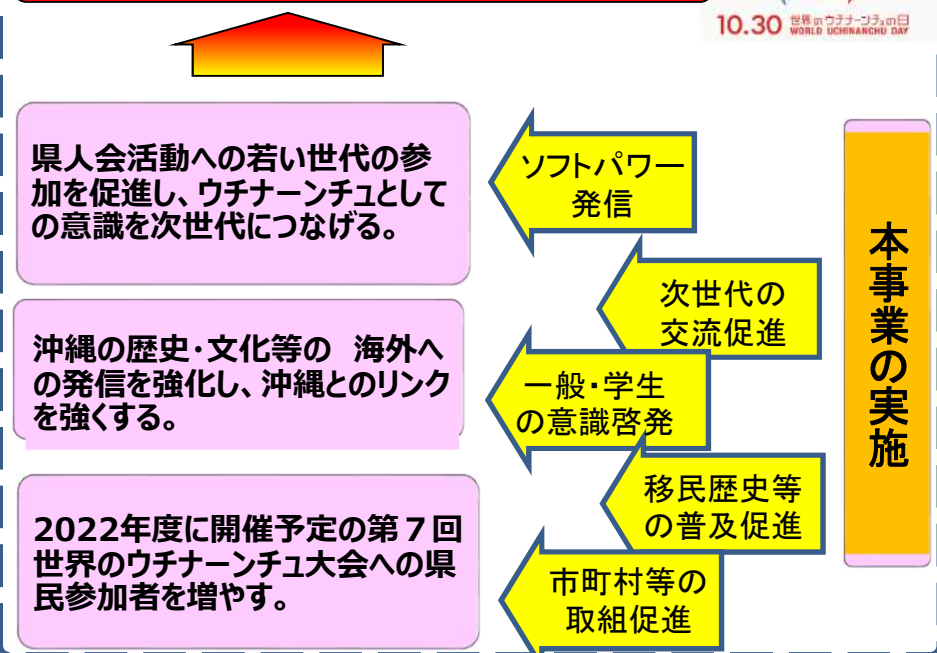
世界のウチナーンチュの日県民認知度60%

年度毎の取組

	R1年度	R2年度	R3年度
世界のウチナーンチュの日定着のための各取組実施	●	●	●

イメージ図

世界のウチナーネットワークの継承・発展



【令和3年度】

文化交流拠点施設整備事業

事業概要

県内伝統芸能等の拠点となる文化交流拠点の整備に向け、関係団体等との意見交換等を行う。

【R3予算額】203千円(調査旅費)

イメージ図



図 計画位置図

R3年度実施内容

文化交流拠点整備事業計画案の見直し、関係団体との意見交換、情報収集

事業実施の目的・効果

【目的】

平成30年度に作成した整備計画案について、関係団体等との意見交換、情報収集を継続して行う。



求められる機能、近隣文化施設等の状況を加味し改めて整備計画を見直す。

知の拠点パワーアップ事業

- ・令和3年度当初事業費：54,490千円
- ・事業期間：平成26年度～

所管：生涯学習振興課（県立図書館）

事業目的

新たな時代の多様化、高度化した社会のニーズに応えられるよう、図書館機能の高度化を図る

事業内容

新たな時代の多様化、高度化した社会のニーズに応えられるよう、次の4つの観点を中心に図書館の機能高度化を図る。

- ①従来から収集してきた資料に加え、より高度なニーズに対応できる県民の知の拠点を目指し、専門性の高い学術書、論文資料、業界誌等を広範囲な分野で収集する。
- ②豊富な情報資源を活用し課題解決支援機能の高度化を図る。
- ③郷土に関する歴史・文化等のレファレンスも深化・高度化を図り、県内外の沖縄情報ニーズに応える体制を強化する。
- ④職員の専門性やサービスの向上を図り、利用者の満足度に繋げる。

事業イメージ

資料提供強化



資料の充実(情報力強化)

レファレンス強化



県立図書館
(県民の知の拠点)



知の交流強化

県(民)の課題解決

